

NIE
実践校から
〈4〉

岡山NIE研究会

NIE推進に向け、実践情報などを交換、研究する「岡山NIE研究会」（水田清志会長）の初会合が6月11日、岡山大学教育学部（岡山市北区）の教室を会場に開催され、県内各教育現場などでNIEに携わる教員や元教員、司書、新聞記者ら12人が出席した。

これまでも同様の情報交換などを行う場として、岡山県NIE推進協議会と連携する教員有志らが、2カ月に1回のペースで「岡山NIE学習会」を開催してきた。しかし「NIEをめぐる現場は日々変化しており、確かな実践を目指すには、全般的な『学習』よりもテーマ別の『研究』がよりふさわしい」とする意見が現場から浮上。今回から発展的に名称を変更した。

第1回会合には大学、高校などの教員らが中心となり、岡山大学大学院の尾島卓准教授（教



初めて開かれた「岡山NIE研究会」の会合
|| 岡山市北区の岡山大学

「主体的な学び」目指し初会合

育学) が作成した資料「『活用型』学力育成の意義とNIEの可能性」を下敷きに、これまでの経緯を踏まえて議論。

学習指導要領改定の概要をもとに「社会に開かれた教育課程」や「確かな学力を育成」するための「主体的・対話的で深い学び」にどうつなげるか意見を交わし、大学教育での「ディ

ープアクティブラーニング」志向などを例示しつつ、NIEの可能性を模索した。

NIEアドバイザーで、同研究会事務局長の畝岡睦実教諭（県立岡山南高）は「主題はNIEだが現在の教育の根本に直結する問題も含まれ、大変刺激になっている」と話していた。

（吉村剛史）